

※二次林・・・ 極相林が何らかの原因(人の手、気候変動など)で失われた後に生えてくる樹木によって形成される森林のこと。雑木林、里山と呼ばれる森林はすべて二次林である。二次林を形成するおもだった樹種はアカマツ、コナラ、ツツジ類、アカメガシワ、ウルシの仲間、タカノツメなどである。

◆ G地点からH地点までの平坦地

- ・ 灌木の林といった様相で、ヒサカキ、クロバイの幼木が並ぶ。ヒサカキとクロバイの葉の違いを観察するには絶好の場所である。



ヒサカキ



クロバイ

- ・ 散策路左右の斜面には圧倒的な数のウバメガシ(低木)が生えている。
- ・ E地点からG地点までの山頂部の散策路は六甲山の他の山と変わることのない森の姿を見せている。



ウバメガシの林

◆ H地点からJ地点までの急斜面

- ・ 急斜面を占める樹木は圧倒的にウバメガシであり、ウバメガシ林を形成しているといっている。  
特に東側の斜面は大きな岩が露出するその隙間にウバメガシがしがみつくように生えている。
- ・ その中でヤマモモ、シャシャンボも目につく。低木のモッコク、クチナシ、ヒメユズリハの幼木などを見ることができる



シャシャンボ



クチナシ



モッコク